

食物アレルギーシンポジウム IN 京都



こどもがまんなか



～みんながみんなの応援団～

食物アレルギーは、病気です。病気だからこれまでは、「医療モデル」での支援のあり方が主体となっていました。しかしながら「食べる」という日常生活が、治療の一つである病気であるからこそ、日常生活を支える「生活モデル」での支援も必要だと考えます。本シンポジウムは、食物アレルギーへの生活モデルの支援に欠かせない「相談援助」のあり方を社会全体で考えることを目的に開催します。

◆日時：3月16日（土）13時～17時

◆会場：同志社大学 今出川キャンパス
良心館2階203（RY203）教室

※アクセスは裏面をご覧ください

◆応援団コーナー

（食物アレルギー情報コーナー）

開場 11時

参加費無料

※但し、申し込みは必要です
先着 100名

プログラム① 「子育て支援からの食物アレルギー支援」調査報告

プログラム② 「アレルギー疾患対策基本法」施行までとこれからと

プログラム③ シンポジウム「食物アレルギーのケアマネジメント」



保育有り

子ども1人500円

※未就学のお子様は、託児のご利用をお願いします。

シンポジウム終了後、演者の皆様を囲んで、交流の時間をもちたいと思います。参加ご希望の方は、当日入場受付時にお申し込み下さい。（※先着10名）

◆企画 食物アレルギー相談援助研究会

◆後援 厚生労働省・（一社）日本小児臨床アレルギー学会・（一社）京都社会福祉士会・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・（一社）京都府保育協会・（公社）京都市保育園連盟（公社）京都府私立幼稚園連盟・（公社）京都市私立幼稚園協会・（公社）京都府栄養士会（公社）京都府助産師会・（公社）京都府看護協会・（一社）京都府医師会・（公財）日本アレルギー協会関西支部 滋賀県・大津市・滋賀県教育委員会・大津市教育委員会（順不同）

◆主催・お問合せ・お申込み◆

認定 NPO 法人 FaSoLabo 京都（旧名称：アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと）

メール：office@allergy-k.org（件名に【シンポジウム】と記載してください）

電話/FAX：075(252)5088（月・水～土 10:00～16:00）

HP：http://www.allergy-k.org/（相談援助研究会のバナーよりお申し込み下さい）

〒604-8273 京都市中京区姉西洞院町 542 サンフィールドビル 3階

※同時に、食物アレルギーの取り組みをされている個人・団体の皆様の【応援団コーナー】の参加（出展）も募集中です。（小児アレルギー学会の標準治療に準拠した取り組みに限ります。）



☆プログラム1 「子育て支援からの食物アレルギー支援」調査報告

演者：栗絵美（認定NPO法人FaSoLabo 京都）

【プロフィール】当法人の事務局スタッフ。サポートデスクやつどいの広場（厚生労働省地域子育て支援拠点事業）など、法人全体の業務を担当。2016-2017年度にかけて京都府内で実施した、子育て支援からの視点での食物アレルギー支援の調査結果を報告します。

☆プログラム2 「アレルギー疾患対策基本法」施行までとこれからと

演者：長岡徹氏（NPO法人アレルギーを考える母の会事務局長・代表理事）

【プロフィール】2015年に施行されたアレルギー疾患対策基本法の制定を提案して法案を起草、日本アレルギー学会の西間三警・元理事長らと連携しながら成立を実現した。その施行までの背景や今後の展望などをお話しくさいます。

☆プログラム3 シンポジウム「食物アレルギーのケアマネジメント」

座長：楠隆氏（日本アレルギー学会指導医・専門医、滋賀県立小児保健医療センター小児科主任部長兼診療局長、京都大学医学部臨床教授）

【プロフィール】一貫して小児アレルギー分野の診療と研究に携わり、多職種によるチーム医療を実践。2017年には第34回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会（現・小児臨床アレルギー学会）大会長を務めた。

空閑浩人氏（同志社大学社会学部教授、社会福祉士）

【プロフィール】身体障害者福祉施設の入職をきっかけに、障害者のノーマライゼーションなどに取り組み、多くの社会福祉施設や（公財）日本社会福祉士会などの理事や委員長などを歴任。2013年よりFaSoLabo 京都の理事長、食物アレルギー支援へ福祉の視点を提言。

演者：笹畑美佐子氏（滋賀県立小児保健医療センター看護師、小児アレルギーエドゥケーター）

「全国初！医療スタッフが立ち上げたアレルギー対応子ども食堂スマイルシード ～みんなで食べる楽しみと繋がる喜び～」

【プロフィール】PAEとして病院勤務・各地域での食物アレルギー研修・講座の講師を勤める。2017年には、近畿一円の医療機関で働くアレルギー専門看護師・管理栄養士が中心となる、全国初の医療スタッフによるアレルギー対応子ども食堂スマイルシードを立ち上げた。

演者：上原優子氏（大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 医療ソーシャルワーカー）

「食物アレルギーの子どもへの働きかけの工夫」

【プロフィール】子どもの心理支援や発達支援が専門。三重県榊原病院勤務時には、精神疾患の患者や家族の支援を担当し、地域医療にも携わる。学校給食「子どもの心を育む」と題してエッセイを毎月連載中。

演者：後藤純子氏（京都府教育庁指導部保健体育課 指導主事）

「『学校等における食物アレルギー対応の手引き』について」

【プロフィール】特別支援学校、小学校の栄養教諭を経て、現在は同課の指導主事として学校給食・食育を担当。2016年度に作成された上記手引の策定に関わった。同課では2018年度には食物アレルギーに対する生活面での配慮について、学校生活を共に過ごす「周りの児童生徒」の理解を進めるため作成中。

演者：古川真弓先生（東京都立小児総合医療センター医員、日本アレルギー学会専門医）

「食物アレルギーのマネジメント ～チーム医療～」

【プロフィール】食物アレルギーの子どもや保護者に寄り添いながらの優しい診断・治療を実践。2015年からクリニックでの診療を兼務し専門病院だけでなく、地域のアレルギー診療も行う。調布市の給食時の誤食事故後は、定期的に市のアレルギー相談事業に携わり、赤澤晃部長のもと「東京都食物アレルギー緊急時対応マニュアル」作成の中心を担った。

◆会場アクセス◆

同志社大学 今出川キャンパス 良心館（京都市上京区今出川通烏丸東入）

- ・京都市営地下鉄烏丸線
「今出川駅」より徒歩1分
（北改札口の同志社大学連絡口直結）
- ・京阪電車鴨東線
「出町柳駅」より徒歩15分

